

リンクスの 事業再生現場 レポート 第81回

**(株) リンクス**

宇都宮市西一の沢町8-22 栃木県林業会館5F
TEL : 028-634-5088
Mail : info@rincs.biz
URL : http://www.rincs.biz/

【再チャレンジ】

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

本年も私ども株式会社リンクスは、中小企業の皆様の発展のため活動して参ります。宜しくお願い致します。

2017年は、トランプ氏の大統領就任により、期待と不安の中のスタートとなりそうです。大統領就任後、どのように舵取りしていくのか注目です。皆様もご存知と思いますが、トランプ大統領には4回の倒産歴があるそうです。倒産歴のある大統領で大丈夫なのかとの記事も日本では見られますが、私は、倒産歴のある人物が大統領に選出されるアメリカという国の大きさに驚きを覚えます。

日本では、一度倒産するとそのレッテルがついて回り、復活することが非常に難しい社会です。何しろ、総理大臣が再チャレンジ可能な社会を目指すことを公約にするくらいですから、現実の世界は推して知るべしでしょう。

しかし、そんな日本でも徐々に考え方は変わってきているようです。昨年私共がお手伝いさせていただいた案件について紹介します。

A社の社長とは6年前からの付き合いです。当時は先代から引き継いだ会社の再建を図るべく、経営改革に取り組んでいましたが、東日本大震災により販売先が被災し、当社の売上も大幅にダウンし、資金繰りが持たなくなり、止む無く破産を選択しました。

その後、数年を経て社長はA社を立ち上げました。協力者からの支援の下、工場を借受け、以前

の販売先からも協力してくれる先が現れてくると、計画していたよりも早く、以前の売上に戻ってきました。当時苦労して考え行動したことは財産になっていたのだと思います。

業績も上向いてきた昨年初め、またもやピンチが訪れます。工場のオーナーが急逝してしまったことから、相続人から工場買収のオファーがきたのです。もし買取れないのであれば、工場を移転せざるを得ません。早速、売上入金口座の銀行へ新規借入を打診しましたが、社長の倒産歴を理由にあっけなく断られたのです。

そこで、私共にて事業計画を策定し、別の金融機関へ申し込みました。本件、金融機関の審査判断は2点と考えました。一つ目は返済の確実性ですが、これは実績値から問題ありません。二つ目は倒産歴ある経営者への融資です。

金融機関にとって倒産歴のある経営者への融資が何故出来ないのか、それは、一度倒産した者は同じ過ちを繰り返すと考えているからでしょう。そこで、旧会社の倒産原因について詳細に説明を加えました。すなわち、倒産の原因は経営者に起因するものではなく、外部要因によるものが大きく、倒産を回避することは非常に困難であったことを理解していただいたのです。

その結果、融資満額承認いただくことが出来ました。その金融機関にとっても初めてのケースだそうです。これぞまさに「再チャレンジ」です。こういった事案が増えてくると、社会は変わってきたと実感できると思います。



〈著者プロフィール〉

代表取締役社長 佐藤 正人

昭和37年生まれ、大田原高校、新潟大学卒。

昭和60年足利銀行へ入行後、営業店、審査部門を経て平成16年退社。

在職中の事業再生の経験を活かし、平成18年栃木県で初めての事業再生専門のコンサルティング会社である(株)リンクスを設立し代表者に就任。以来地元中小企業の多くの事業再生を行っている。